

会誌「情報処理」56巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

応募条件 ・表紙のデザイン（裏表紙、背表紙は含まず）。

- ・A4判（天地 297mm× 左右 210mm）4色フルカラー。
- ・描画手法は問いません。
- ・「情報処理」の題字、巻号、法定文字、記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
- ・簡単なデザインコンセプトを添えてください。
- ・応募資格は問いません。

注意事項 ・応募作品は返却いたしません。

- ・採用作品の掲載にあたって、学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
- ・採用作品の著作権（著作権法第27条、第28条の権利を含む）は情報処理学会に帰属します。
- ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について、第三者との間に紛争が生じた場合は、作者がその責を負う）。
- ・応募される場合は、上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 2014年11月5日（水）（必着）

結果通知 2014年11月下旬

賞 金 採用者1名に5万円

送付先／照会先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375



フォロー・
リツイート
お願いします

◎twitter で情報発信中!

情報処理学会ツイッター ▶ @IPSJcom

ソフトウェア工学研究会 ▶ @IPSJ_SIGSE
 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会 ▶ @HpcCommittee
 ヒューマンコンピュータインタラクション研究会 ▶ @ipsj_sighci
 情報基礎とアクセス技術研究会 ▶ @sigifat
 オーディオビジュアル複合情報処理研究会 ▶ @ipsj_avm
 モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会 ▶ @ipsj_sigmbi
 インターネットと運用技術研究会 ▶ @IPSJ_SIGIOT
 自然言語処理研究会 ▶ #signl
 コンピュータと教育研究会 ▶ @ipsjce
 音楽情報科学研究会 ▶ @ipsj_sigmus
 エンタテインメントコンピューティング研究会 ▶ @ipsj_sigec
 バイオ情報学研究会 ▶ @sigbiojapan



いいね!・
シェア
お願いします

◎Facebook で情報発信中!

情報処理学会ページ www.facebook.com/IPSJcom

計算機アーキテクチャ研究会 www.facebook.com/groups/ipsj.sigarc/
 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 www.facebook.com/groups/ipsj.sigos/
 モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会 www.facebook.com/IPSJ.SIG.MBL
 インターネットと運用技術研究会 www.facebook.com/ipsjiot
 コンシューマ・デバイス&システム研究会 www.facebook.com/sig.cds
 電子化知的財産・社会基盤研究会 www.facebook.com/eipjp
 会員の力を社会につなげる研究グループ www.facebook.com/ssr.ipsj



■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会 (本部) ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 論文誌 (デジタルプラクティス), 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル/トランザクション/ JIP) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 国際会議, IFIP 委員会
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続 세미나, プログラミング・シンポジウム
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

CONTENTS

Preface

Future of Technology, Technologists, and Technology Societies
Dejan S. Milošević (IEEE Computer Society President)

Special Article

904 A System that "passed" the Turing Test
Ryuichiro HIGASHINAKA (NTT Media Intelligence Labs.)

Special Features

Cyber-Physical Systems

- 908 0. Foreword**
Tatsuo NAKAJIMA (Waseda Univ.) and Shinpei KATO (Nagoya Univ.)
- 910 1. An Overview of Cyber-Physical Systems and Their Trends**
Shinpei KATO (Nagoya Univ.)
- 916 2. Basic Technology for Cyber-Physical Systems - A Concept of Physical Systems**
Takuya AZUMI (Osaka Univ.)
- 922 3. Toward Field Operational Test (FOT)**
Kiyomi HIRANO (Keeno Consulting) and Kazuya TAKEDA (Nagoya Univ.)
- 928 4. Embodiment Informatics : Human Resource Cultivation Program for Cyber-Physical-related Industrial/Academic Field**
Shigeki SUGANO and Tetsunori KOBAYASHI (Waseda Univ.)
- 934 5. A Software Infrastructure for Next Generation CPS**
Tatsuo NAKAJIMA, Mizuki SAKAMOTO (Waseda Univ.) and Sayaka AKIOKA (Meiji Univ.)
- 939 6. Connecting Home Appliances to the Cloud**
Hiroo ISHIKAWA (Panasonic Corp.)
- 941 7. Life-support : ICT-based e-Health Systems**
Shigeki KAWAMORI and Shiro OOTANI (NTT Data Corp.)
- 943 8. Autonomous Driving of Vehicles**
Satoshi KAGAMI (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)
- 946 9. A Shared System Development Approach Using FieldSever and a Wireless Wearable Terminal that Accounts for a Farmer's Activities**
Takahiko TSUJISAWA (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)
- 948 10. Trading Carbon Emission Credits by CPS Technology**
Ichiro SATOH (National Institute of Informatics)
- 950 11. Persuasive Technology in Cyber-Physical Systems**
Akihito YOSHII (Waseda Univ.) and Kaori FUJINAMI (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)
- 952 12. Designing Human Behaviors : Human-Environment Interaction Design Implicitly Triggering Behavior Changes**
Yoichi MATSUYAMA, Jun NAKAGAWA, Taiki WATAI (Waseda Univ.), Akihiro HAYASHI (Rice Univ.), Atsushi ENTA (Tokyo Univ. of Science) and Yasutaka WADA (The Univ. of Electro-Communications)

Special Features

Big Data : A Driving Force for World-Changing Innovation

- 956 0. Foreword**
Kazuo ISHII (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology), Masahiro MIZUTA (Hokkaido Univ.) and Miyuki NAKANO (Shibaura Institute of Technology)
- 958 1. Next Generation Dashboard to Adapt to Big Data**
Takahiro IKEUCHI (ALBERT Inc.)
- 964 2. Big Data in Medicine**
Kazuo ISHII (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology)
- 970 3. Big Data Case Study with Cloud Services**
Yuichi YOSHIARA (Amazon Data Services Japan K.K.)
- 976 4. Approach to the Information-Driven Enterprise with Hadoop Big Data Platform**
Kiyoshi MIZUMARU (Cloudera K. K.)
- 982 5. Big Data Processing with Shell Scripting**
Nobuaki TOHNAKA (Universal Shell Programming Lab., Ltd.)

Article

- 990 Painting the Future of Wearable Computing**
Hiroyuki MORIKAWA (The Univ. of Tokyo)
- 996 4K/8K Broadcasting Systems Realized by MMT - Revolution of Media Transport Technology in Twenty Years -**
Shuichi AOKI (Science and Technology Research Labs, NHK)

"Peta-gogy" for Future

- 1003 Developing Human Skills is a Key to Success!**
Takuo ISHIKAWA (Hitachi Solutions, Ltd.)
- 1004 Certified IT Professional (2) - The Outline of the Individual Certification Scheme -**
Akira SHIBATA (Committee of the Certification of Individuals)
- 1008 An Approach to the Education Improvement of Information System at Niigata University of International and Information Studies - Accepting JABEE Authorized Continuous Examination -**
Mitsuo KOBAYASHI (Niigata Univ. of International and Information Studies)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 903 My Eight-year Stay at UCL-CS**
Yuko MURAYAMA (Iwate Prefectural Univ.)

- 1012 Topics**
- 1022 Biblio Talk**
- 1024 IPSJ Activity Report**
- 1034 The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine**

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、6月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「マルチエージェントシミュレーション」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ちょうど動向に興味を持っていたのでタイムリーな特集でした。研究動向に加えて、より基本的な知識を得るための関連書籍の紹介があるとなお良いと思いました。(渡辺泰之)

■動画で見たり手を動かしてみたらさぞ面白いであろうシミュレーション結果を紙面の図で見ることに少しもったいなさを感じた。(匿名希望)

■特集のはじめは、非専門家にも分かりやすく読めるよう、配慮を感じた。ビッグデータを単純に使うだけでは効果はないということを改めて知ることのできた特集3を、特に面白く読んだ。(匿名希望)

「2. 社会シミュレーションと組織・社会の情報処理のアーキテクチャ・デザイン」

■冒頭部分(IOE時代)と本文との関係性が難解。(酒井保良)

「3. ビッグデータとエージェントシミュレーション」

■実社会で経験したことの種明かしがあった。(匿名希望)

「5. マルチエージェントの自動交渉モデルとその応用」

■途中で読むのをあきらめた。せっかく図-1を掲げながら、図の解説がきちんとなされていない。原著論文(文献3)を参照して理解せよというのだろうか。(牛島和夫)

「6. 避難シミュレーションの実社会への応用」

■本会の実社会貢献の有力候補。(酒井保良)

「7. 都市計画のための交通シミュレーション」

■(1)注釈が的確で、読む上で役に立った。これほど役に立つ注釈はこれまでにあまり経験していない。(2)事例が具体的で、状況を想像できる。(3)都市ごとにその成り立ち、構成、条例による規制等はケースバイケースであり、一律の手法ではMASを適用できないこと、個別的な研究パワーが求められることが分かった。(牛島和夫)

連載「古機巡礼/二進伝心：2013年度情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館認定式」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■分散した展示物を紹介するという前提からか、まとまりが感じられず、筆者の回顧録に感じてしまい深く入り込めなかった。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■似たような印象のものが3つ続き、多すぎるかなという印象です。(匿名希望)

■高等教育機関におけるICTを用いたICT以外の教育について興味がある。実践例があれば特集してほしい。(匿名希望)

■自分が小中学生のころは情報の授業やパソコンを用いた授業はなかったが、今後自分が親になって子供に情報リテラシーなどを教える立場になるにあたって考えるべきことがたくさんあるのだろうと思う。(匿名希望)

「解説：幸せなパソコン教室のために」

■運営コストの問題やプログラミング教育方法などばらばらの話題が混ざっており主張や論理展開がはっきりしない。(匿名希望)

■有意義な解説だ。ICTへの対処は年代間で大きなギャップがあると思われる(＃)。特に、次代を担うべき子どもたちの環境が心配だけれど実態が私にはよく分かっていない。本解説のような解説をできれば毎月掲載されると大いに啓発される。(＃)世代間のギャップ：デジタルプラクティス第5巻第2号のグロスサリに「COBOL」と「バッチ処理」が掲げられているのを見て驚いたが、現役の技術者にとってはそうなのかも知れないと考えた次第。(牛島和夫)

「解説：九州大学・九州芸術工科大学におけるICT環境：35年間の歴史」

■PC必携化は先行する大学が多数あるが、そのような大学の教職員から移行のためのノウハウを得る機会があったかなど、各大学間でのICTによる教育のノウハウ共有について触れられていればより良かった。(匿名希望)

シニアコラム「IT好き放題：産学間に横たわる深い谷：抽象化」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■抽象化の大切さを主張したいのは分かるが、国内の受託開発や商用パッケージを例に出すより、OSSのプロダクトに注目したほうがよい。今の時代は机上の理屈より、優れたモノを作った側が説得力を持つ。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をいただきました。今後の参考にいたします。

■ビッグデータの利活用。囲碁、将棋のアルゴリズム、コン

ピュータ・グラフィクス, SIGGRAPH の動向を取り上げてほしい。(高木 淳)

■教育. 大学の学部における特に情報リテラシー教育について取り上げてほしい。(水野光朗)

■情報に関する個人の好み, 使用実績のデータベースを構築し, それに照らして, 最新情報を定量評価する. さらに優先度の高いものから順に, 今日のニュースとして提供する. そのような, 情報過多の世の中で自分にとって必要と思われるものを重点的に提供してもらえサービスの必要性和実現性に関する議論を取り上げてほしい。(酒井保良)

■「編集委員退任にあたって」を読んで, 会誌の表紙が毎月異なることを初めて知った. 伊藤毅志氏が言われるように, 編集者の遊びゴコロが隠されていると, 会誌の魅力が増すと思う。(稲本 康)

■ Software Defined Network の最新動向を取り上げてほしい。(匿名希望)

■ Open Education に関する特集を希望いたします。(匿名希望)

■内容に興味がある記事も多いのですが, 具体的な目的/実用例なども合わせて記事にしていただけると, さらに意味のある内容になるかと思えます。(菅野純一)

■4月号で表紙の基盤に深い意味があることを, 5月号で毎月盤面が違うことを, 6月号でそれらが前任編集者の創意工夫であったことを知りました. 表紙の基盤が今本誌で一番気に入っています. 目次に表示している記事の分類マーカーも

いいですね。(匿名希望)

■セキュリティの特集(特に組込み機器, 自動車)を希望します。(匿名希望)

■マーケティングや営業支援とITを取り上げてほしい。(匿名希望)

■巻頭コラムではITの非専門家やユーザの方がどのようにITを使いこなしているのか, 知りたい。(匿名希望)

■東京オリンピックに向けて, 情報処理技術の研究に拍車がかかっていると聞きます. 特集を組んでみてはいかがでしょうか。(匿名希望)

■アカデミックの世界でいう「産業界」が指す対象がピンとこない. 旧態依然の国内事例が念頭にあるように思えるので, よりチャレンジングで国際協業が盛んなWebの世界へメッセージを発したほうがよい。(匿名希望)

■短いものでよいので, 英語で書かれた記事を掲載してはどうでしょうか. 専門用語に注を付ければ, ゼミでの輪読にも活用できるので。(水野光朗)

■D-Wave社の量子コンピュータが世を賑わせていますが, そういうホットな話題を...と思いましたが7月号でさっそく特集が組まれており, 非常に時宜を得ていると思います. 今後とも, 技術の本質をしっかりと伝えるということと, 情報鮮度の両立を目指していただけますとありがたいです。(中島隆夫)

【本欄担当 川本淳平, 金井 遵/会員サービス分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>>にも掲載しています. Web版では, 紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので, ぜひ, こちらもご参照ください. 会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております. 今後もよりよい会誌を作るため, ぜひ皆様のお声をお寄せください.

皆様にとって会誌をより役立つものとするため,

- ・記事に対する感想, 意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見, 提言
- ・その他, 情報処理技術についての全般的な意見, 提言

など自由なご意見, ご感想をお待ちしております.

なお, 「道しるべ」については

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>>で

これからのテーマ案を募集しており, いただいたご意見をまとめております.

※ご意見, ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします.

掲載に際しては, 編集の都合上, ご意見に手を加えさせていただくことがありますので, あらかじめご了承ください. なお, 意見の投稿に伴う, 住所, 氏名, 所属などの個人情報については, 学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします.

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IPJS カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2014」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-R.html	9月5日(金)		
	論文誌「社会に浸透していくコンピュータセキュリティ技術」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-V.html	11月28日(金)		
	論文誌「E-Service and Knowledge Management toward Smart Computing Society」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-T.html	12月19日(金)		
8月21日(木)～ 8月22日(金)	平成26年度電気関係学会東北支部連合大会開催案内 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月15日(日)		山形大学工学部
8月22日(金)～ 8月23日(土)	第33回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 http://www.entcomp.org/sig/2013/index.php?page=top		当日のみ	くらま温泉
8月24日(日)	夏のプログラミング・シンポジウム2014 http://prosym.github.io/sprosym2014/	6月12日(木)	7月24日(木)	(株)ドリコム・プレゼンテーションルーム
8月24日(日)～ 8月26日(火)	情報教育シンポジウム2014 (SSS2014) http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2014	5月31日(土)	当日可	リゾートホテル オリビアン小豆島
8月25日(月)～ 8月27日(水)	第104回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus104.html	7月7日(月)	当日のみ	京都大学 総合研究 8号館NSホール
8月27日(水)～ 8月29日(金)	The 9th International Workshop on Security (IWSEC2014) https://www.iwsec.org/2014/			コラポ弘大
8月27日(水)～ 8月29日(金)	第72回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・ 第11回コンシューマ・デバイス&システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mb172c2ds11.html	7月3日(木)		8/27 WiP 上郷・森の家 (横浜市) 8/28,29 研究発表会 横浜市技能文化会館
8月28日(木)～ 8月29日(金)	DA シンポジウム2014—システム設計技術とLSI設計技術— http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2014.html	5月30日(金)	7月18日(金)	下呂温泉 水明館
9月1日(月)～ 9月2日(火)	第193回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim193.html	6月9日(月)	当日のみ	筑波大学
9月1日(月)～ 9月2日(火)	第218回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl218.html	7月17日(木)	当日のみ	首都大学東京 南大沢キャンパス
9月1日(月)～ 9月3日(水)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2014 (SES2014) http://ses.sigse.jp/2014/	5月2日(金)		芝浦工業大学 芝浦キャンパス
9月3日(水)～ 9月5日(金)	FIT2014 第13回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/index.html		当日可	筑波大学 筑波キャンパス
9月4日(木)～ 9月5日(金)	第11回ネットワーク生態学シンポジウム http://www.neteco.jp/symposium/201409/	8月1日(金)	定員になり次第	湘南国際村センター
9月8日(月)～ 9月9日(火)	九州支部2014年度「若手の会セミナー」開催案内 http://www.ipsj-kyushu.jp/		8月8日(金) 定員になり次第	玄海ロイヤルホテル
9月8日(月)～ 9月9日(火)	平成26年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会開催案内 http://www.ipsj-tokai.jp/rengo2014/	6月26日(木)		中京大学 名古屋キャンパス
9月10日(水)～ 9月11日(木)	第129回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is129.html	7月21日(月)	当日のみ	愛媛大学 城北キャンパス
9月11日(木)～ 9月12日(金)	平成26年度電気関係学会北陸支部連合大会開催案内 http://jhse2014.nc-toyama.ac.jp/	7月11日(金)	当日のみ	富山高等専門学校 本郷キャンパス
9月11日(木)～ 9月12日(金)	第86回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm85.html	7月18日(金)	当日のみ	山形県鶴岡市 庄内産業振興センター
9月12日(金)	第149回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al149.html	7月10日(木)	当日のみ	伝国の杜
9月12日(金)～ 9月14日(日)	エンタテインメントコンピューティングシンポジウム (EC2014) http://ec2014.entcomp.org/	6月23日(月)	当日可	明治大学 中野キャンパス
9月13日(土)	平成26年度電気関係学会四国支部連合大会開催案内 http://www.sjciee.org/	7月21日(月)		徳島大学工学部
9月16日(火)	第156回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg156.html	7月6日(日)	当日のみ	中京大学 名古屋キャンパス
9月17日(水)	2014年度関西支部支部大会開催案内 http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_2014/index.html	6月20日(日)		大阪大学 中之島センター
9月17日(水)	第34回組込みシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/emb34.html	7月22日(火)	当日のみ	札幌市男女共同 参画センター
9月18日(木)～ 9月19日(金)	平成26年度(第67回)電気・情報関係学会九州支部連合大会開催案内 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月15日(火)		鹿児島大学 郡元キャンパス
9月18日(木)～ 9月19日(金)	第161回マルチメディア通信と分散処理・ 第65回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps161eip65.html	7月21日(月)	当日のみ	東海大学 熊本キャンパス
9月19日(金)	第39回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio39.html	7月25日(金)	当日のみ	大阪大学 吹田キャンパス
9月25日(木)	連続セミナー2014 第3回「モバイル・クラウド時代のソフトウェア開発技術」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
9月25日(木)～ 9月26日(金)	第100回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps100.html	7月25日(金)	当日のみ	日本科学未来館
9月27日(土)	東海支部主催講演会「RoboCup2017名古屋に向けて」 http://www.ipsj-tokai.jp/		当日のみ参加無料 会員外の方も参加可	愛知工業大学 本山キャンパス
9月30日(火)	短期集中セミナー「画像・音声符号化伝送技術～最新線と標準化動向～」 http://www.ipsj.or.jp/event/s-seminar/2014/ITSCJ-MPEG/		定員になり次第	化学会館

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
10月2日(木)～ 10月3日(金)	第146回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc146.html	7月25日(金)	当日のみ	沖縄産業支援センター
10月2日(木)～ 10月3日(金)	第167回システムとLSIの設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm167.html	7月31日(木)	当日のみ	東北大学
10月6日(月)～ 10月7日(火)	第204回計算機アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc204.html	8月8日(金)	当日のみ	ホテルニューツルタ
10月14日(火)～ 10月15日(水)	第160回ヒューマンコンピュータインタラクション・ 第44回ユビキタスコンピューティング合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci160ubi44.html	8月14日(木)	当日のみ	沖縄科学技術 大学院大学
10月17日(金)	連続セミナー2014 第4回「モバイル・クラウド時代を加速するIOT (Internet of Things)」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html		定員になり 次第	化学会館 大阪大学中之島センター
10月18日(土)	第104回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch104.html	8月4日(月)	当日のみ	関西大学
10月22日(水)～ 10月24日(金)	組込みシステムシンポジウム2014 (ESS2014) http://www.sigemb.jp/ESS/2014/	6月30日(月)		国立オリンピック記念 青少年総合センター
10月22日(水)～ 10月24日(金)	コンピュータセキュリティシンポジウム2014 http://www.iwsec.org/css/2014/	7月28日(月)	9月29日(月)当日可 9月5日(金)まで 早期割引有り	札幌コンベンションセンター
10月25日(土)	高校教科「情報」シンポジウム2014秋 http://sigps.eplang.jp/		定員になり次第	早稲田大学西早稲田 キャンパス 55N号館 1階会議室
10月25日(土)	平成26年度(第65回)電気・情報関連学会中国支部連合 大会開催案内 http://rentai.fukuyama-u.ac.jp	7月28日(月)		福山大学
11月7日(金)～ 11月9日(日)	第19回ゲームプログラミングワークショップ2014 (GPW-14) http://www.ipsj.or.jp/sig/gi/gpw/2014/	7月21日(月)		箱根セミナーハウス
11月11日(火)	連続セミナー2014 第5回「モバイル・クラウド時代のデータプライバシー」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
11月19日(水)～ 11月20日(木)	第7回Webとデータベースに関するフォーラム (WebDB Forum 2014) http://db-event.jpn.org/webdbf2014/	8月22日(金)		芝浦工業大学 豊洲キャンパス
11月19日(水)～ 11月20日(木)	第26回コンピュータシステム・シンポジウム (ComSys2014) http://www.ipsj.or.jp/sig/os/index.php?ComSys2014	8月29日(金)		芝浦工業大学 豊洲キャンパス
11月27日(木)～ 11月28日(金)	グループウェアとネットワークサービスワークショップ2014 http://www.ipsj.or.jp/sig/gw/gnws2014/	9月12日(金)		ニューウェルシティ 湯河原
12月1日(月)	連続セミナー2014 第6回「アナリティクス適用事例」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
12月4日(木)～ 12月5日(金)	第7回インターネットと運用技術シンポジウム (IOTS2014) http://iot.ipsj.or.jp/iots/2014/	9月11日(木)		立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
12月8日(月)～ 12月10日(水)	マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS2014) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dpsws2014.html	8月11日(月)		出雲・玉造温泉 ホテル玉泉
12月13日(土)～ 12月14日(日)	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2014」 http://jinmoncom.jp/sympo2014/		当日可	一橋講堂 / 国立情報学研究所
2015年				
1月9日(金)～ 1月11日(日)	第56回プログラミング・シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/prosym/			ラフォーレ倶楽部 伊東温泉湯の庭
1月20日(火)～ 1月22日(木)	The 8th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous (ICMU2015) http://www.icmu.org/icmu2015/			ロワジールホテル函館
3月17日(火)～ 3月19日(木)	情報処理学会 第77回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/77/index.html			京都大学 吉田キャンパス
9月15日(火)～ 9月17日(木)	FIT2015 第14回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2015/			愛媛大学 城北キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 7月25日 「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想ロードマップーロードマップ2014ー」に関する意見
- 7月24日 「パーソナルデータの利活用に関する制度改正大綱」に対する意見
- 7月15日 人材募集情報 (Vol.55 No.8)
- 7月15日 会誌「情報処理」56巻表紙デザイン募集
- 7月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.55 No.8)

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000 円 (税込 21,600 円)

賛助会員（企業） 税抜 30,000 円 (税込 32,400 円)

賛助会員以外の企業 税抜 50,000 円 (税込 54,000 円)

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000 円 (税込 4,320 円) で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

***特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと**

■近畿大学工学部情報学科

募集人員 准教授、講師、または助教 1名
 専門分野 マルチメディア工学分野
 担当科目 メディアデータ解析、コンピュータネットワーク演習、情報メディア総合演習、情報メディア創成演習、卒業研究 など
 応募資格 (1)博士の学位を有する方、(2)准教授、講師の場合は大学院を担当できる方
 着任時期 2015年4月1日
 提出書類 公募のWebページ (<http://www.hiro.kindai.ac.jp/saiyo/teacher-info.html>) でご確認ください
 応募締切 2014年9月5日 (必着)
 送付先 〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1 近畿大学工学部 学部長 京極秀樹
 照会先 情報学科 学科長 田中一基 E-mail: kazumoto@hiro.kindai.ac.jp Tel(082)434-7000(ext.873)

■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科

募集人員 助教 1名
 所属 計算機システム・ネットワーク領域
 専門分野および関連する主な職務 情報ネットワーク分野、特にサイバーフィジカルシステムに関する研究分野、計算機システム・ネットワーク領域の講義の一部を担当。丹教授およびLim准教授と共同して、研究室内の博士前期・後期課程学生、また他研究室の副テーマ学生を指導
 応募資格 採用時に博士の学位を有し、本学の理念と目標に従って、熱意を持って本学における教育や競争力のある先端研究を推進できる方。コンピュータネットワークの実装およびシミュレーション、物理シミュレーション、ユビキタスコンピューティングに関する知識と経験を有し、他研究者と連携し、プロジェクト型の共同研究を遂行できる方。英語を使つてのグローバルコミュニケーション能力のある方。日本語による学生指導ができることが好ましい
 着任時期 2015年1月1日以降なるべく早い時期
 提出書類 (1)履歴書および学位証明書のコピー、(2)主な教育研究業績書、(3)研究活動および教育活動にかかわる今後の計画・抱負等、(4)研究業績リスト、(5)応募者本人の連絡先（郵便宛先とE-mailアドレス）、(6)推薦書2通、または意見を伺える方2名の氏名・所属と連絡先（E-mailアドレス）。Webページ (http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubo/pdf/is_H260623.pdf) の作成上の注意事項に従ってご作成ください
 応募締切 2014年9月12日 (必着)
 送付先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科長 飯田弘之 「教員応募書類在中（計算機システム・ネットワーク領域・助教）」と朱書き簡易書留 *E-mailにより提出された書類は受け付けません
 照会先 情報科学研究科担当（共通事務管理課共通事務第二係）
 E-mail:is-secr@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1147（研究科長秘書） Fax(0761)51-1149
 その他 本学では、選考に際して同等のクオリフィケーションの場合は、女性や外国人を優先します。本学の育児・介護期間の両立支援に対する取り組みについては、Webページ (<http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubo/WorkLifeBalance.htm>) をご参照ください

■筑波大学システム情報系知能機能工学域

募集人員 准教授または助教 4名(助教は着任時から5年間のテニュアトラック期間満了時までにはテニュア審査が行われ、可とされた場合にテニュアとなる)

専門分野 サイバニクス, 制御工学, ソフトコンピューティング, 災害情報学, 各1名

応募資格 博士の学位を有しているかまたは取得見込みの方

着任時期 2015年4月1日

提出書類 Webページ (<http://www.iit.tsukuba.ac.jp>)を参照してください

応募締切 2014年9月16日(必着)

送付先/照会先 〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学システム情報系 知能機能工学域長 葛岡英明
E-mail: kuzuoka@iit.tsukuba.ac.jp 「教員応募書類在中」と朱書き書留か宅配便 *応募書類は返却しません

その他 書類選考の後,面接選考(プレゼンテーションを含む)を実施.面接のための旅費等は支給しません.より詳細な応募情報はWebページ (<http://www.iit.tsukuba.ac.jp>)を参照してください

■兵庫県立大学工学研究科

募集人員 准教授 1名

所属 電気系工学専攻 電子情報工学部門

専門分野 レーダセンシングと画像化技術

担当科目 情報論理学, 論理数学

着任時期 2015年4月1日

応募締切 2014年9月19日(必着)

送付先 〒671-2280 兵庫県姫路市書写2167 兵庫県立大学経営部総務課気付 大学院工学研究科長 山崎 徹
「電子情報工学部門教授応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則として返却いたしません

照会先 電子情報工学部門 教授 松井伸之 E-mail: koubol60@eng.u-hyogo.ac.jp Tel(079)267-4993 (ダイヤルイン)

その他 提出書類など詳細はWebページ (http://www.eng.u-hyogo.ac.jp/info/guide/fs_accept.html)を参照ください

■福岡工業大学情報工学部情報システム工学科

募集人員 教授 1名

専門分野 情報工学分野(機械システム工学)

学 科 目 システム工学, 情報基礎工学

担当科目 技術基礎数学, ロボット設計, 機械システム基礎論, 情報システム基礎実験, 情報システム工学実験, 卒業研究等

応募資格 専門分野の研究業績があり,以下の各項に該当する方
1)博士の学位を有する方または着任時までに取得可能な方, 2)大学院の教育, 研究指導の可能な方, 3)実験や研究で実践的な学生指導ができる方が望ましい, 4)教育歴のある方が望ましい

着任時期 2015年4月1日

提出書類 (1)履歴書(学歴, 職歴, 学会および社会における活動等), (2)研究業績リスト(査読付き論文とその他の論文を区別すること, また, 外部資金の獲得実績や特許などもあれば記載すること), (3)主要論文別刷(5編程度), (4)これまでの研究概要と今後の研究計画(A4用紙1枚程度), (5)教育歴(これまでの担当科目や役職, 教育改善の取り組み, オープンキャンパスなどでの展示, 出前講義などについてもあれば記載すること), (6)教育に対する抱負(本学科はJABEEを推進しています)(1000字程度), (7)応募者について問合せのできる方2名の氏名, 所属, 連絡先 ※紙での提出のほか, 電子ファイル等のデジタルデータでも提出してください.ただし, (3)は任意

応募締切 2014年9月19日(必着)

送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310
「情報システム工学科教員(情報工学分野)応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として応募書類は返却いたしませんのでご了承ください

照会先 情報システム工学科 学科長 吉田耕一 E-mail: k-yoshida@fit.ac.jp Tel(092)606-4991 (ダイヤルイン) Fax(092)606-0754 (学科事務室)

その他 本学は65歳定年です

■福井工業高等専門学校電子情報工学科

募集人員 准教授 1名
 専門分野 電子情報工学(ソフトウェア, ネットワークに関する分野)
 担当科目 オペレーティングシステム, プログラミング, 電子基礎工学関連科目の講義および実験, ソフトウェア関連の実験, 卒業研究など
 応募資格 (1)博士の学位または技術士の資格を有する方, (2)教育・研究・学生指導・地域貢献に熱意があり, 福井高専の運営等に積極的かつ協動的に参画できる方, (3)プログラミングコンテスト, ロボットコンテスト等ものづくり教育の指導に熱意のある方
 着任時期 2015年4月1日
 提出書類 (1)採用・昇任候補者個人調書, (2)著書および論文等リスト, (3)著書および論文等の概要(3編), (4)前記(3)で記した主要論文・解説記事等(コピー可), (5)著書および論文等以外の業績または職務経験を有する方については, その内容を記したもの, (6)高等専門学校における教育・研究等についての抱負, (7)応募者について意見を伺える方の連絡先(氏名, 所属, 電話番号, E-mailアドレス等)があれば望ましい
 応募締切 2014年9月22日(必着)
 送付先 〒916-8507 福井県鯖江市下司町 福井工業高等専門学校 総務課人事労務係
 「電子情報工学科教員公募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
 照会先 電子情報工学科学科長 斉藤 徹 E-mail: t-saitoh@ei.fukui-nct.ac.jp Tel(0778)62-8278(直通) Fax(0778)62-3414
 その他 詳細はWebページ(<http://www.fukui-nct.ac.jp/info/kyouinkoubo.html>)を参照ください

■東京理科大学理工学部電気電子情報工学科

募集人員 嘱託助教 2名(任期:5年)
 専門分野 「情報・通信・コンピュータ分野」(画像情報工学・信号処理)または「エネルギー・制御・環境分野」(パワーエレクトロニクス・電気機器)
 応募資格 博士の学位を取得, または着任時までに取得見込みで, 電気系基礎科目の演習と学生実験を担当できる方
 着任時期 2015年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(数点), 着任後の教育と研究に対する抱負(A4用紙2枚程度), 連絡先(住所, 電話・Fax番号, E-mailアドレス等), 応募者を照会可能な方2名の氏名と連絡先. 詳細はWebページ(http://www.tus.ac.jp/boshuu/pdf/koubo20140929_riko_ele_02.pdf)をご覧ください
 応募締切 2014年9月27日(必着)
 送付先 〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 東京理科大学理工学部電気電子情報工学科事務室
 照会先 電気電子情報工学科 主任 前田譲治 E-mail: koubo-2015@ee.noda.tus.ac.jp Tel(04)7124-1501(ext.3705)

■東海大学情報通信学部組込みソフトウェア工学科

募集人員 教授 1名
 専門分野 組込みソフトウェア工学(家電製品, 自動車, ロボット, 通信機器等の組込みシステムのソフトウェア開発方法に関連した分野)
 担当科目 プログラミング応用, データ構造とアルゴリズム, 開発プロジェクト, 入門ゼミナール等
 応募資格 博士の学位を有するか, 着任までに確実に取得できること. 研究・教育に熱意を持って取り組み, 学部・学科運営に積極的に協力できること
 着任時期 2015年4月1日
 提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績リスト, (3)主要論文別刷(7編, コピー可), (4)応募の動機, 本学での教育・研究への抱負(A4用紙1500字程度, ワープロ打ち), (5)推薦をしていただける方の氏名, 所属, 連絡先, 本人とのご関係および推薦書
 応募締切 2014年9月29日(必着)
 送付先 〒108-8619 東京都港区高輪2-3-23 東海大学情報通信学部組込みソフトウェア工学 主任
 「教員応募資料在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
 照会先 組込みソフトウェア工学科 主任 渡辺晴美 E-mail: harumi@wing.ncc.u-tokai.ac.jp
 その他 書類選考後, 面接を行います

■東京理科大学工学部電気電子情報工学科

募集人員 准教授または講師 1名
 専門分野 情報・通信・コンピュータ分野(情報セキュリティ・暗号理論・符号理論)
 応募資格 博士の学位を取得、または着任時までに取得見込で、関連分野の大学院生を指導できる方
 着任時期 2015年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷(数点)、着任後の教育と研究に対する抱負(A4用紙2枚程度)、連絡先(住所、電話・Fax番号、E-mailアドレス等)、応募者を照会可能な方2名の氏名と連絡先。詳細はWebページ(http://www.tus.ac.jp/boshuu/pdf/koubo20140929_riko_ele_01.pdf)をご覧ください
 応募締切 2014年9月29日(必着)
 送付先 〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 東京理科大学工学部電気電子情報工学科事務室
 照会先 電気電子情報工学科 主任 前田譲治 E-mail: koubo-2015@ee.noda.tus.ac.jp Tel(04)7124-1501(ext.3705)

■青山学院大学工学部情報テクノロジー学科

募集人員 助教または助手 1名(任期:年度ごとに更新、最長5年。助手として採用された場合、教育・研究実績に応じて助教への昇任機会あり。その場合には助手としての採用期間も含めて最長5年)
 専門分野 モバイル通信、無線通信応用ソフトウェア、センサネットワーク、実世界指向ネットワーク、Internet of Things など実世界オブジェクトにかかわるネットワーク・ソフトウェアおよびその関連分野
 担当科目 プログラミング実習(C/Java言語)、計算機システム構築実習、情報テクノロジー体験演習などの学部向け実験実習科目
 応募資格 博士の学位を有する方が望ましい。情報テクノロジーに関する教育・研究に熱意を持ち、専門分野の業績を有すること。キリスト教への十分な理解があること
 着任時期 2015年4月1日
 提出書類 (1)履歴書(市販用紙使用、連絡先にE-mailアドレスも含めること)、(2)研究業績リスト(受賞、著書、学術誌掲載研究論文(査読あり)、学術誌掲載解説論文、国際会議論文(査読あり)、招待講演、口頭発表の予稿、特許などに分類のこと)、(3)主要論文別刷(掲載誌・巻・号・ページの分かるもの、5編以内、コピー可)、(4)これまでの研究の概要(A4用紙1枚程度)、(5)今後の研究計画(A4用紙1枚程度)、(6)教育に対する抱負(A4用紙1枚程度)、(7)本人に関する所見を伺える方1名の氏名および連絡先
 応募締切 2014年9月30日(必着)
 送付先/照会先 〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1 青山学院大学工学部情報テクノロジー学科 戸辺義人
 「情報テクノロジー学科(ネットワーク分野)教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 E-mail: tobe@it.aoyama.ac.jp Tel(042)759-6318
 その他 Webページ(<http://www.aoyama.ac.jp/recruit/>)

■東海大学情報通信学部通信ネットワーク工学科

募集人員 准教授または講師 1名
 専門分野 Web情報学・サービス情報学、クラウド技術
 応募資格 博士の学位を現に有するか、着任までに確実に取得できること
 着任時期 2015年4月1日
 応募締切 2014年9月30日(必着)
 照会先 通信ネットワーク工学科 主任代行 山本 宙 E-mail: hiroschi@tokai.ac.jp Tel(03)3441-1171(ext.1610)
 その他 提出書類、送付先等の詳細はWebページ(<http://www.yamamotolab.jt.u-tokai.ac.jp/koubo1.pdf>)をご覧ください

■東海大学情報通信学部通信ネットワーク工学科

募集人員 教授 1名
 専門分野 通信工学、ネットワーク工学
 応募資格 博士の学位を現に有するか、着任までに確実に取得できること
 着任時期 2015年4月1日
 応募締切 2014年9月30日(必着)
 照会先 通信ネットワーク工学科 主任代行 山本 宙 E-mail: hiroschi@tokai.ac.jp Tel(03)3441-1171(ext.1610)
 その他 提出書類、送付先等の詳細はWebページ(<http://www.yamamotolab.jt.u-tokai.ac.jp/koubo2.pdf>)をご覧ください

■苫小牧工業高等専門学校情報工学科

- 募集人員 助教 1名
 専門分野 情報工学およびその周辺分野
 担当予定科目 情報工学および関連分野の実験・実習・卒業研究・特別研究および講義（プログラミング、オペレーティングシステム、計算機システム、情報通信、システム工学、ソフトウェア工学など）
 応募資格 (1) 上記専門分野の講義・実験指導を担当できる方、(2) 博士の学位を有するか、着任までに取得見込みの方、または技術士の資格を有するか、(3) 高等専門学校の教育および学生指導（クラブ活動含む）に熱意があり、学術研究に意欲がある方、(4) 採用時における年齢が30歳未満の方が望ましい（雇用対策法施行規則第1条の3第1項第3号のイの適用により、長期勤続によるキャリア形成を図るため）
 着任時期 2015年4月1日
 提出書類 (1) 履歴書【様式1】、(2) 研究業績リスト（著書、論文等）【様式2】、(3) 研究・開発等の履歴リストおよび研究・開発等の概要（2000字以内）【様式3】、(4) 教育業績リスト（学校等における教職員歴等）【様式4】、(5) 主要な著書、論文等の原本またはそのコピー（3編以内）、(6) 高専教育に対する抱負（2000字以内）【様式5】、(7) 本人について参考意見を求める場合の相手方（2名、住所、氏名、連絡先、本人との関係）、(8) その他（審査に役立つと思われるもの）
 公募に必要な各様式については「苫小牧工業高等専門学校Webページ（<http://www.tomakomai-ct.ac.jp>）」からダウンロードして利用してください
 応募締切 2014年9月30日（必着）
 送付先 〒059-1275 北海道苫小牧市字錦岡443 苫小牧工業高等専門学校 総務課人事係
 「情報工学科 助教 教員公募」と朱書し簡易書留
 照会先 情報工学科 学科長 稲川 清 E-mail: inagawa@jo.tomakomai-ct.ac.jp Tel/Fax(0144)67-8931
 その他 選考方法：第一次選考 書類選考、第二次選考 面接 ※日時は、面接を実施する方に直接お知らせします。なお、面接にかかる旅費、宿泊費等は応募者本人の負担となりますのでご了承願います
 苫小牧工業高等専門学校は男女共同参画に配慮しており、女性の積極的な応募を期待しています
 公立学校等に在職の方が採用された場合等、都道府県の条例等によって勤務年数が通算されない場合があります
 （独）国立高等専門学校機構苫小牧工業高等専門学校は男女共同参画を推進しており、業績（教育業績、研究業績、社会的貢献、人物を含む）の評価において同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します

■豊橋技術科学大学大学院工学研究科

- 募集人員 助教 1名（任期：5年。審査により任期の定めのない教員となる可能性あり）
 所属 情報・知能工学系 計算機学分野
 専門分野 計算機科学の基礎理論分野（アルゴリズム、組合せ最適化、計算量など）
 応募資格 (1) 博士の学位を有する（もしくは着任時頃には取得見込みの方）、(2) 情報関連学生実験科目を担当可能な方
 着任時期 2015年4月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 (1) 履歴書、(2) 業績リスト（著書、学術論文、国際会議、総説・解説、特許等に分類）、(3) 主要論文別刷（5編以内）、(4) 学会活動状況、(5) 外部資金獲得状況、(6) 研究活動の概要（1000字程度）、(7) 教育研究への抱負（1000字程度）、(8) 応募者について所見を伺える方2名の連絡先
 応募締切 2014年9月30日（必着）
 送付先 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学情報・知能工学系 系長 中内茂樹
 「教員応募書類（計算機学助教）在中」と朱書し簡易書留
 照会先 豊橋技術科学大学情報・知能工学系 藤戸敏弘 E-mail: fujito@cs.tut.ac.jp Tel/Fax: (0532)44-6775
 その他 選考方法：書類審査および面接
 詳細は、大学Webページ（<http://www.tut.ac.jp/about/kouboh26.7.3.2.pdf>）をご参照ください

■公立はこだて未来大学システム情報科学部複雑系知能学科

- 募集人員 教授または准教授 1名
 専門分野 複雑系知能学（複雑系知能システム、複雑系工学、複雑系計算論、知能ロボティクス、マルチエージェント、知識発見、ビッグデータ応用、知能メディア処理）
 担当科目 情報数学、解析学、線形代数学、プログラミング演習、カオス・フラクタル、数値解析、データベース工学、認知システム論、人工知能とメディアなどの中から4科目程度。専門分野に適合した大学院の科目
 応募資格 学位（博士）を有し、複雑系知能学分野に関する教育・研究に熱意を持っている方。当該専門分野における研究業績があり、学部・大学院の教育と研究を担当できる方
 着任時期 原則として、2015年4月1日
 応募締切 2014年9月30日（必着）
 照会先 複雑系知能学科 学科長 平田圭二 E-mail: recruit201501@fun.ac.jp Tel(0138)34-6462（直通）
 その他 詳細は、大学Webページ（<http://www.fun.ac.jp/category/recruit/>）をご参照ください

■公立はこだて未来大学システム情報科学部

- 募集人員 助教 1名(5年任期。任期中に優れた業績を上げたとき認められた場合は、教育への適性を評価した上で、任期なしの准教授に昇格させる場合あり)
- 専門分野 システム情報科学(情報システム応用、ネットワークシステム、インタラクティブ・システムなど)
- 担当科目 数学総合演習、情報処理演習、情報表現入門、情報表現基礎を担当可能であること。これらに加えて、線形代数学、解析学、情報数学、データ構造とアルゴリズムのうちの複数科目を担当可能であること(准教授への昇格の評価に使用)
- 応募資格 学位(博士)を有し(取得見込みを含む)、システム情報科学分野に関する教育・研究に熱意を持っている方
- 着任時期 原則として、2015年4月1日
- 応募締切 2014年9月30日(必着)
- 照会先 システム情報科学部 副学長 片桐恭弘 E-mail: recruit201502@fun.ac.jp Tel(0138)34-6428(直通)
- その他 詳細は、大学Webページ(<http://www.fun.ac.jp/category/recruit/>)をご参照ください

■石巻専修大学理工学部情報電子工学科

- 募集人員 教授 1名(任期:なし)
- 専門分野 情報工学とそれらの応用に関連した情報電子工学分野
- 担当予定科目 プログラミング論など情報工学関連科目、実験、演習、卒業研究を担当。大学院(前期および後期課程)においては、情報工学関連科目および研究指導を担当
- 応募資格 (1)博士の学位を有する方、(2)私立大学における教育・研究に熱意のある方、(3)大学院においても教育、研究指導の可能な方
- 着任時期 2015年4月1日
- 提出書類 (1)履歴書(様式自由)、(2)研究業績リスト(応募者に下線)、(3)主要論文別刷(5編以内、コピー可)、(4)これまでの研究概要と今後の研究計画(A4用紙1枚以内)、(5)教育に対する抱負(A4用紙1枚以内)(教育歴のある方はその概要を含めてください)、(6)推薦書1通(必須ではありませんが、用意できる場合には提出ください)、(7)照会可能な方2名の氏名、所属および連絡先((6)の推薦者を含めてよい)
- 応募締切 2014年10月10日(必着)
- 送付先/照会先 〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1 石巻専修大学理工学部情報電子工学科 主任 中込真二
E-mail: nakagomi@senshu-u.ac.jp Tel(0225)22-7716
「助教応募書類在中」と朱書き書留または簡易書留 *書類は返却いたしません(書類は採用審査のみに使用)
- その他 書類審査後、必要に応じて面接を行います(交通費支給)
詳細はWebページ(<http://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/iunivguide/irecruitment.html>)をご覧ください

■茨城大学工学部情報工学領域

- 募集人員 准教授または助教 1名
- 専門分野 情報セキュリティとその応用情報システム分野を専門とする方(たとえば、システムセキュリティ、情報セキュリティ技術・政策、暗号理論など)
- 応募資格 博士学位(取得見込み含)。大学院生の研究指導補助、大学院担当ができる方。教育研究に意欲を持って取り組める方。なお、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り女性の積極的な応募を歓迎します
- 着任時期 2015年4月1日
- 応募締切 2014年10月16日(必着)
- 照会先 情報工学領域 羽瀬裕真 E-mail: habuchi@mx.ibaraki.ac.jp Tel(0294)38-5147
- その他 詳細はWebページ(<http://www.ibaraki.ac.jp/employment/>)をご覧ください

■小樽商科大学商学部商学部社会情報学科

募集人員 准教授 1名(任期:なし)
 所属 組織と情報講座
 専門分野 情報工学関連分野
 担当科目 情報システム構築論, 情報処理, 計画数学, および学部・大学院の情報システム関連科目
 応募資格 大学院博士課程修了(2015年3月修了見込み者を含む)またはそれと同等以上の研究業績がある方
 着任時期 2015年4月1日
 提出書類 本学Webページ(<http://www.otaru-uc.ac.jp/info/koubo/post-13.html>)をご参照ください
 応募締切 2014年10月17日(必着)
 送付先 〒047-8501 北海道小樽市緑3-5-21 国立大学法人小樽商科大学長
 「情報システム構築論等担当教員応募書類」と朱書き書留 *提出書類は原則として返却しません。申し出があった場合に限り返却します。返却を希望される方はその旨を付記し、切手添付済み返却用封筒、または宅配便宛名ラベル(着払い用)を同封してください。履歴書等、個人情報にかかわる書類は審査終了次第、廃棄いたします
 照会先 総務課人事係 E-mail: jinji@office.otaru-uc.ac.jp Tel(0134)27-5208 Fax(0134)27-5213
 その他 本学は男女雇用機会均等法を遵守し、育児支援型勤務時間体制を導入しています
 本公募に関する詳細については、Webページ(<http://www.otaru-uc.ac.jp/info/koubo/post-13.html>)をご覧ください

■茨城大学工学部メディア通信工学領域

募集人員 教授または准教授 1名
 所属 工学部・メディア通信工学領域
 専門分野 通信ネットワーク分野, ソフトウェアとハードウェアを含む通信応用システムに関する研究分野を専門とする方
 着任時期 2015年4月1日
 応募締切 2014年10月20日(必着)
 照会先 メディア通信工学領域 領域長 武田茂樹 E-mail: obote@mx.ibaraki.ac.jp
 その他 詳細はWebページ(<http://www.eng.ibaraki.ac.jp/employment/>)をご覧ください

■久留米工業大学工学部情報ネットワーク工学科

募集人員 准教授または講師 1名(任期5年, 再任あり)
 専門分野 ヒューマンコンピュータインタラクション(特に実世界指向インタフェース)
 応募資格 博士の学位を有する方。インタラクション分野での制作実績のある方
 着任時期 2015年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究教育業績書, 着任後の研究および教育活動における今後の計画・抱負(1000文字程度), 主要論文別刷(5編以内, コピー可), 製作物および作品のポートフォリオ(書式自由) *詳細については、Webページ(<http://www.kurume-it.ac.jp/daigaku/saiyo.html>)にてご確認ください
 応募締切 2014年10月31日(必着)
 送付先 〒830-0052 福岡県久留米市上津町2228-66 久留米工業大学工学部情報ネットワーク工学科 学科長 高橋雅仁
 「情報ネットワーク工学科 教員応募書類」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却しません
 照会先 情報ネットワーク工学科 河野 央 E-mail: kono@kurume-it.ac.jp
 その他 応募に際しては、必ず本学のWebページ(<http://www.kurume-it.ac.jp/daigaku/saiyo.html>)をご覧ください
 本学では、男女共同参画社会基本法の精神に則り、教員の選考を行います

FIT2014 第 13 回情報科学技術フォーラムの御案内

FIT2014Web サイト : <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/>

電子情報通信学会 (情報・システムサイエンス、ヒューマンコミュニケーショングループ) と情報処理学会とは2002年から合同で毎年秋季にFIT (Forum on Information Technology) を開催しており、2014年9月には第13回目を筑波大学で開催致します。皆様、奮って御参加下さい。

会 期 : 2014年9月3日 (水) ~5日 (金)

会 場 : 筑波大学 筑波キャンパス (つくば市天王台1-1-1)

交 通 : つくばエクスプレス「つくば駅」下車、つくばセンターから「筑波大学中央」行きバスあるいは「筑波大学循環バス (右回り)」で10-15分、「第三エリア前」下車

※お車 (自家用車) での御来場は御遠慮下さい。

総合受付 : 3B棟2F エントランス

受付時間 : 8 : 30-16 : 30 (5日のみ15 : 00まで)

■聴講参加費 (税込)

参加区分	参加費
会 員	10,000円 (プログラム・参加章・DVD-ROM)
非会員	20,000円 (プログラム・参加章・DVD-ROM)
学 生	無料 (プログラム・参加章)

※会員、非会員、学生の参加区分の別は以下の通りです。

会 員 : 電子情報通信学会, 情報処理学会, 電気学会, 照明学会, 映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会 (IEIE, APSIPA, ECIT, IEEE/ComSoc, KICS, VDE/ITG, KIEES, CIC, IEEE/PHO, IEEE/MTS, IEEE/CS, KIISE) または情報処理学会と協定を締結した海外の学会 (ACM, IEEE, IEEE/CS, KIISE, CSI) の個人会員に限ります。

非会員 : 上記の学会会員以外で学生以外の方。

学 生 : 会員/非会員を問わず無料 (DVD-ROMは付きません)。

社会人学生の方も、学生証を総合受付で呈示頂ければ無料です。

■開催イベント企画 [予定]

今回のFITでは以下の講演会、パネル討論等のイベント開催を予定しております。(詳細は逐次FIT2014Webサイトに掲載致します)

◎船井業績賞受賞記念講演

4日 14:00-15:15 第1イベント会場 (3A棟 2F 3A204)

「日本を離れて研究をするために」

辻井 潤一 (マイクロソフトリサーチアジア 首席研究員)

◎FIT学術表彰式

4日 13:00-13:50 第1イベント会場 (3A棟 2F 3A204)

◎イベント企画

第1イベント会場 (3A棟 2F 3A204)

3日 13:00-15:00 大学発ベンチャーの現在 : 東大・情報理工学系研究科を起点として

15:30-17:30 エクサスケールコンピューティング時代の大学スパコンセンターの役割

4日 13:00-13:50 FIT学術表彰式

14:00-15:15 船井業績賞受賞記念講演

15:30-17:30 新しい時代の情報保護と情報利活用
ーセキュリティ技術、法律、マネジメンター

5日 9:30-12:00 情報の流れに着目した実時間分散処理基盤
~IoTとクラウドソーシングの観点から~

13:00-16:00 2020年のサイバーセキュリティ戦略 ー東京オリンピック・パラリンピックに向けてー

第2イベント会場 (3A棟 4F 3A402)

3日 10:00-12:00 会誌「情報処理」編集委員会女子部~番外編!~

13:00-15:00 映像符号化・配信技術の最新標準化動向

15:30-17:30 DTN最前線 ~時空間を超えてデバイスを紡ぐ新しい情報基盤へ~

4日 9:30-12:00 自然計算研究の最前線とその将来
15:30-17:30 電子ポイント (仮想通貨や企業ポイント) について語る

5日 13:00-16:00 CPS (サイバーフィジカルシステム) 最前線ー実世界のビッグデータはどのように活用されているかー

第3イベント会場 (3A棟 4F 3A403)

3日 13:00-15:00 移行工学改め引退工学

15:30-17:30 新しい個人情報保護の枠組みとパーソナルデータの匿名化措置はどうか?

4日 9:30-12:00 時空間を制限したプライバシー情報保護活用のための社会基盤の構築に向けて

15:30-17:30 イノベーションを生み出すビジネスモデルに直結した情報システムを構築するには

5日 10:00-12:00 コミュニティによるものづくりとサイバーワールド

13:00-16:00 The 2nd ARC/CPSY/RECONF High-Performance Computer System Design Contest (第2回 高性能コンピュータシステム設計コンテスト)

■懇親会 [予定]

開催日時 : 9月4日 (木) 18 : 00~20 : 00

会 場 : 2B棟 1F 第二エリア食堂

参加費 (税込) : 社会人 5,000円、学生 2,000円

一般講演座長または査読者 3,000円

■冊子講演論文集・DVD-ROM販売価格 (税込)

申込種別	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000円	57,000円
講演論文集各分冊	12,000円	15,000円
講演論文集DVD-ROM	8,000円	55,000円

※会場販売は残部のある限りとなりますので、あらかじめ御了承下さい

※講演論文集セットは冊子講演論文集全分冊 (カバー付き)、DVD-ROM

※分冊は第1~4分冊の予定

※学生の方は、会場にてDVD-ROM学割会場販売価格4,000円

■講演論文集の掲載分野 (予定分冊構成)

第1分冊 : モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ

第2分冊 : データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学

第3分冊 : 画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

第4分冊 : ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム

DVD-ROM : 上記全論文とプログラムを収録

(著者、所属、キーワードによる索引付き)

※FIT 査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ収録されます。

■問合せ (FIT2014幹事学会)

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内

一般社団法人電子情報通信学会 大会・研究会部 FIT担当

TEL [03] 3433-6651 FAX [03] 3433-6659

E-mail : ieicefit@ieice.or.jp

■次年度のFIT2015開催

2015年9月 愛媛大学にて開催予定



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.55 No.8 (Aug. 2014)

【特集：地域貢献・復興】

- 特集「地域貢献・復興」の編集にあたって 串田高幸
- Issues in Disaster Communications 村山優子
- 東日本大震災と情報通信ネットワークのあり方 服部 武
- The 3.11 Disaster and Data 奥村晴彦
- 情報学を学ぶ学生たちを活用した地域貢献活動の事例 上平崇仁 他
- Endless Flyer バッテリー自動交換による持続飛行プラットフォームの開発 藤井克也 他
- BalloonNet: 無線ネットワークノードを用いた建物包囲型三次元配置手法 孫 為華 他
- 和歌浦湾におけるセーリング競技振興のためのセーリング競技航跡情報基盤システムの実証評価 塚田晃司 他
- 公立小学校の課外活動における非専門家によるプログラミング教育 原田康徳 他
- Trial of Learning Support System using Kinect in After School Care Programs Noriko Akazawa 他
- 平時から災害時へ連続的に利用可能な被災者を直接的に支援するデュアルパス情報共有システム 岡崎亮介 他
- プロジェクションマッピングによる公立大学の地域貢献 迎山和司 他

【特集：組込みシステム工学】

- 特集「組込みシステム工学」の編集にあたって 中本幸一
- Architecture Domain Matrix 手法による医用分析装置統合システムソフトウェアの開発 兒玉隆一郎 他
- Android アプリケーションの利用情報に基づく消費電力分析手法 古庄裕貴 他
- Matlab/Simulink で設計されたエンジン制御 C コードのマルチコア用自動並列化 梅田 弾 他
- 組込み仮想化のハードウェア I/O アドレスマップ変換 請園智玲
- インプリサイズ計算モデルにおける温度を考慮した動的電圧周

- 波数制御の実機評価 溝谷圭悟 他
- TECS Components Providing Functionalities of OSEK Specifications for ITRON OS Atsushi Ohno 他
- 適応型スケジューリングによる平均応答時間の短縮法—実行時間見積り方法の影響— 田中清史

【一般論文】

- A Compact Code for Rectangular Drawings with Degree Four Vertices* Toshihiko Takahashi
- 電力モデルに基づくアプリ消費電力可視化ツールの評価* 神山 剛 他
- 固定基地局を含む無線マルチホップネットワークにおける無線ノード移動計画を用いた DTN 配送手法* 岩井正敏 他
- A Method for Embedding Context to Sound-based Life Log Hiroki Watanabe 他
- Design and Evaluation of Energy-consumption-aware Evolutional Agent System for Portable Devices Wenpeng Wei 他
- High Density Impulse Noise Removal Based on the Total Observation Kernel Element for Image Sequences Fitri Utaminigrum 他
- 分断と再統合現象を考慮したオーロラのビジュアルシミュレーション 小島啓史 他
- デスクトップ上の画面変化に基づく取り消し操作把握支援手法* 坂本有沙 他
- 映像に同期させた香りデザインツールの構築* 鈴木理沙 他
- プログラミング演習のための授業支援システムにおける学習状況把握機能の実現 加藤利康 他
- 橋梁点検の技術者のための「道具」デザインに向けたフィールド観察 市野順子 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (Aug. 2014)

【Transactions on System LSI Design Methodology Vol.7】

- Test and Design-for-Testability Solutions for 3D Integrated Circuits Krishnendu Chakrabarty 他
- Energy-efficient High-level Synthesis for HDR Architecture with Multi-stage Clock Gating Hiroyuki Akasaka 他
- A Delay-Variation-Aware High-Level Synthesis Algorithm for RDR Architectures Yuta Hagio 他
- Reinforcing Random Testing of Arithmetic Optimization of C Compilers by Scaling up Size and Number of Expressions Eriko Nagai 他
- A Sophisticated Routing Algorithm in 3D NoC with Fixed TSVs for Low Energy and Latency Xin Jiang 他
- An Area Efficient Regular Expression Matching Engine Using Partial Reconfiguration for Quick Pattern Updating Yoichi Wakaba 他
- Forwarding Unit Generation for Loop Pipelining in High-Level Synthesis Shingo Kusakabe 他

【Transactions on Computer Vision and Applications Vol.6】

- Video Completion via Spatio-Temporally Consistent Motion Inpainting Menandro Roxas 他

【論文誌 コンピューティングシステム Vol.7 No.3】

- 再直交化付きブロック逆反復法による固有ベクトルの並列計算 石上裕之 他
- Non-Homogeneous 置換モデルに基づく進化系統樹推測の MPI/OpenMP HYBRID 並列化：大規模計算システム向けプログラムの開発と性能評価 石川奏太 他
- 資源の独立化機構により排他制御を局所化するマルチコア向け Tender の実現 山本貴大 他
- Design Aid of Multi-core Embedded Systems with Energy Model Takashi Nakada 他

【論文誌 デジタルコンテンツ Vol.2 No.2】

- 浮世絵の3次元CGアニメーション化の試み 角 康之 他

- 動作合成システムとタブレット端末を用いた現代舞踊の創作支援
曾我麻佐子 他
- 遠隔非食事者との疑似共食コミュニケーションのためのインタ
フェースエージェント Surrogate Diner 塩原拓人 他
- ゆとりある食事のための食事エージェントシステム
井上智雄 他
- データ分離可能な没入型コンテンツの放送型配信におけるスケ
ジューリング手法 後藤佑介 他
- コンテキストアウェアな情報表示端末における近距離無線を用い

た視聴者情報の検出とコンテンツ選択

田中碧海 他

【論文誌 プログラミング Vol.7 No.4】

- An On-The-Fly Algorithm for Conditional Weighted Pushdown
Systems Hua Vy Le Thanh 他
- スタック長の特徴付けによる言語の非 DCFL 性証明
上里友弥 他
- 可逆プログラミング言語の引数渡し機構の拡張 新海由侑 他

協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

● 協力協定学会名・相互割引率（正会員会費が割引対象）

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%

※ 協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/kaigaikanren.html>) を
 ご参照いただき、直接お問い合わせください。

● 本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。
 正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)
 初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。
 ※ これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書（正会員）(https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■ 照会先：会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375

連続セミナー 2014 www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/



モバイル・クラウド時代の IT 新潮流を 読み解く

- <主催>
一般社団法人 情報処理学会
- <協賛>
一般社団法人 情報サービス産業協会 (JISA)
一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)
一般社団法人 電子情報通信学会 (IEICE)
一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA)
- <会場>
化学会館 7F (東京) 大阪大学中之島センター (大阪)

第3回 2014年9月25日(木)

モバイル・クラウド時代のソフトウェア開発技術

コーディネータ 青山 幹雄 (南山大学) ※タイトルは予定であり変更する可能性があります。

近年の情報技術の進展を俯瞰すると、クラウド・コンピューティングの浸透やモバイル・デバイスの多様化などに伴い、ビッグ・データ活用、プライバシー保護対策、ソフトウェア迅速開発などパラダイムシフトといっても過言ではないほどトレンドが大きく変化しています。

本連続セミナーでは、データ解析、ネットワーク、セキュリティ、ソフトウェア工学など各技術分野での大きな潮流変化をとらえつつ、社会・ビジネスへのインパクトまで含めて、今後の動向を読み解きます。

※価格はすべて予約価

東京会場	参加費(消費税込)*冊子資料含	6回分	3回分	1回分
正会員	86,400円	64,800円	28,900円	
一般非会員	108,000円	81,000円	36,100円	
学 生	12,960円	9,720円	4,400円	
大阪会場	参加費(消費税込)*冊子資料含	6回分	3回分	1回分
正会員	60,500円	45,400円	20,300円	
一般非会員	75,600円	56,700円	25,300円	
学 生	9,100円	6,900円	3,100円	

問合せ先 一般社団法人情報処理学会 事業部門
jigyo@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8373 <http://www.ipsj.or.jp>

ご意見をお寄せください！

【9月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
（E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください）
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号（2014年9月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：テクノロジー、テクノロジスト、テクノロジー学会の未来 10-1- []
- IT好き放題：UCL-CS 留学時代の思い出 10-2- []
- 特別解説：チューリングテスト「合格」のシステム 10-3- []
- 特集：サイバーフィジカルシステム
1. サイバーフィジカルシステムの概要と動向 10-4- []
 2. サイバーフィジカルシステムを支える技術 10-5- []
 3. フィールド実証実験（FOT）に向けて 10-6- []
 4. 実体情報学が拓く世界 10-7- []
 5. 次世代 CPS のためのソフトウェアインフラストラクチャ 10-8- []
 6. 家電の常時接続 10-9- []
 7. ライフサポート：ICT を利活用したヘルスケア 10-10- []
 8. クルマの自動走行 10-11- []
 9. フィールドサーバとウェアラブル端末による農作業情報共有の試み 10-12- []
 10. CPS 技術を利用した排出権管理 10-13- []
 11. サイバーフィジカルシステムにおける説得工学の利用 10-14- []
 12. 行動をデザインする：人の行動を促す人間 10-15- []
- 特集：ビッグデータ：世界を変えていくイノベーションの原動力として
1. ビッグデータ時代のマーケティング・ダッシュボード 10-16- []
 2. 医療におけるビッグデータ利活用 10-17- []
 3. クラウドサービスを用いたビッグデータ活用事例 10-18- []
 4. Hadoop によるビッグデータプラットフォームを用いた情報駆動型企業へのアプローチ 10-19- []
 5. シェルスクリプトを用いたビッグデータ活用の事例 10-20- []
- 「ウェアラブル」の未来予想図 10-21- []
- MMT により実現される 4K/8K 放送システム 10-22- []
- べた語義：人間力を磨くことが成功への鍵！ 10-23- []
- べた語義：認定情報技術者制度（2） 10-24- []
- べた語義：新潟国際情報大学における情報システム教育改善の取り組み 10-25- []
- トピックス：研究会推薦博士論文速報 10-26- []
- ピブリオ・トーク：機動警察パトレイバー 風速 40 メートル 10-27- []
- 学会活動報告：情報技術の国際標準化と日本の対応 10-28- []
- 会誌編集委員会女子部 10-29- []

〔11〕 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔11-1〕 良かった記事 11-1- []
〔11-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
〔11-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-3- []
a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
〔12-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 12-3- []
a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 サイバーフィジカルシステム：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []
〔13-2〕 ビッグデータ：世界を変えていくイノベーションの原動力として：a) 専門家 b) 非専門家 13-2- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見や感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

次号（10月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」ソフトウェア工学の共通問題

共通問題の作成～ワークショップを通して～／共通問題ショートエッセイ／PBLと共通問題～成功事例と失敗事例による共通問題の形成～／座談会「共通問題の30年」

「特集」プロトタイプから製造へ！

なんでボクらは作るのか？／研究者のモノづくり／野生のモノづくり／プロのモノづくり：ハードウェアベンチャー／個人のモノづくりを支援する技術基盤—プロトタイピングツール konashi の事例を中心に／ユメをカタチに～自ら壁を越えるために～

解 説：現場で活躍する3D計測技術 新村 稔
次世代HTTPストリーミング標準：DASH 平林光浩

教育コーナー：べた語義

連 載：古機巡礼／二進伝心／ビブリオ・トーク／会誌編集委員会女子部

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT好き放題

「サイバーフィジカルシステム」という言葉は知っている、実際にそれが示すものが何かはほんやりとしか理解していない、または明確に説明できない、という方は実は多いのではないかと思います。恥ずかしながら私自身もその1人で（エディタとしてそれでいいのか、という点をご容赦いただくとして…）、本特集の編集作業を通じて、理解と興味を深めさせていただくことができました。サイバーフィジカルシステムは社会や経済、建築等のさまざまな分野と関連していることはもちろん、情報処理学会がサポートする多くの技術分野における知見が必要とされています。そのため異分野との協働・協力が幅広く盛んに行われているといった点で、今後の研究開発・応用の広がりが楽しみです。

サイバーフィジカルシステムのように実社会に深く根ざした技術分野について理解を深めるには、その要素技術に

関する内容とともに、実際の応用例を通じて、どのように世の中に役立てられているかを知っていただくことが重要と考えられます。今回は、ゲストエディタの中島達夫先生（早稲田大学）、加藤真平先生（名古屋大学）のご協力により、多くの事例紹介（ケーススタディ）を含めた特集を企画することができました。私自身がそうであったように、本特集の記事や事例紹介を通じて、サイバーフィジカルシステムの要素技術や応用範囲、今後の展望について少しでも興味を持ち、理解を深めていただければ幸いです。

最後に、ご多忙な時期にもかかわらず原稿執筆をお引き受けいただいた著者の皆様、企画の立ち上げから編集までご尽力いただいたゲストエディタの中島先生、加藤先生、その他執筆・編集にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

（和田康孝／本特集エディタ）

本特集は、IT フォーラム「ビッグデータ活用実務フォーラム」での講演やイベントで昨年からの協力的に動いてくださった方々を中心にご執筆いただいた。その意味で、本フォーラムのこの1年間の活動の総まとめのような形で編成された。また、ビッグデータ利活用の現場で、実際にリソースやサービスの提供を行っている企業の方、実際のデータ分析の処理に取り組んでいる方々の生の声を集められ、企画としてどうにか実現した。その結果、本フォーラムの設立目的としていた情報交換、情報共有、情報発信の場の提供ということに一步でも近づけたのではと考えている。本企画にこころよく賛同いただき、ご協力いただいた執筆者、エディタの方々には心からお礼を申し上げたい。

ビッグデータという単語に関してそろそろバズワードとしても賞味期限が近づいてきているのではと思われることから、編集者として本特集をどこまで魅力的にすることができるかというチャレンジングな面があった。実際、類似の特集は本誌やデジタルプラクティスその他の最近の号で、「ビッグデータに備える」、「ビッグデータ活用を支えるOSS」などのテーマで取り上げられているし、IT 関連雑誌で記事のタイトルとしても出現頻度が高い。そのた

め、本特集がどのような特徴を出していくかという点において、どのような分野で利活用を展開していくかを意識することに気を配った。

ビッグデータそのものが今後どのように展開していくか興味を引くが、なにより読者諸氏の働いている分野での活用促進がどのように進んでいくかが、気になる場所であろうと思われる。今年のソフトウェアアジア 2014 の際のアンケートでも声が聞かれた点であるが、個人的には特に統計学や機械学習を中心とするアナリティクスの進展に注目している。

もちろんビッグデータ利活用の取り組みは、本特集で紹介したものに限定されるわけではなく、多くの方々が取り組んでいる課題であろうと考える。本特集がそういった方々と本フォーラムとの連携を図っていくきっかけとなることを期待したい。また、バズワードと言われ続けながらも、とどまることなく進化が続いているこの分野の情報交換、情報共有、情報発信のアクションの1つとして、位置づけることができると考える。その意味で、今後とも多くの方々のご指導、ご鞭撻を賜りたい。

（石井一夫／本特集ゲストエディタ）

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	190,000円 (税込205,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	165,000円 (税込178,200円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		
同封 (A判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」55巻9号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース …… 表2 富士通 …… 表4
 オーム社 …… 表2対向 三菱電機インフォメーションシステムズ …… 表3
 とめ研究所 …… 前付最終下
 培風館 …… 前付最終上 すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
 広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ピー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

Google

グーグル (株)

GREE

グリー (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

NTT data

NTT データ (株)



NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽R天

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)